

第21回「勇気ある経営大賞」 受賞企業決定のお知らせ

～大賞は日本メディック（総合部門）、ヒューマンライフコード（スタートアップ部門）に決定！～

東京商工会議所（小林健会頭）は、第21回「勇気ある経営大賞」（実行委員長：倉石誠司副会頭・本田技研工業（株）特別顧問）の受賞企業を以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

本賞は、過去に拘泥することなく、常識の打破に挑戦し、高い障壁に挑み、高い理想の追求を行う等、**勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループを顕彰する事業です。**

今回より、以下の通りリニューアルを行い、募集・選考を行いました。

<リニューアル内容>

- ① **創業10年以内の企業を対象とした【スタートアップ部門】を新設し、**
既存の【総合部門】と併せて2部門で募集・選考を実施
- ② **「奨励賞」を業種別の部門賞に変更**
- ③ 【総合部門】において、**会員企業によるウェブ投票**を実施
⇒ **「最も『勇気ある挑戦』をしている」と思う企業に投票**いただき、最多得票企業に**「会員企業賞」を贈呈**
- ④ 選考期間を見直し、隔年で選考を実施

【総合部門】

【総合部門】は応募総数56件・56社の中から、大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社を選定しました。また今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞することが期待される企業12社に、奨励賞（業種別）を、会員企業によるウェブ投票で最多得票を獲得した企業1社に会員企業賞を贈呈することを決定しました。

<大賞>

株式会社日本メディック

民事再生法適用の苦境から起死回生を期して、業界初となる業務用に特化したマッサージチェアを開発。普及拡大のためレンタルの仕組みや月々払いを取り入れるなど、業界の常識を覆す挑戦を行った。

神奈川県藤沢市（都内：港区）／卸売業



城田 充晴 社長



業界初の業務用マッサージチェア

【スタートアップ部門】

新設した【スタートアップ部門】は応募総数44件・44社の中から、スタートアップ部門大賞1社を選定しました。また今後、大賞・スタートアップ部門大賞・優秀賞・特別賞を受賞することが期待される企業4社に、スタートアップ部門奨励賞を贈呈することも併せて決定しました。

<スタートアップ部門大賞>

ヒューマンライフコード株式会社

難治性疾患を持つ患者の生きる希望をつなぐため、規制・技術・供給の3つの壁を乗り越え、臍帯（へその緒）を使った再生医療等製品を開発。

中央区／製造業



原田 雅充 社長兼 CEO



臍帯から抽出した細胞を培養

※その他の受賞企業は次ページ以降をご覧ください。

受賞企業には、12月3日（火）の顕彰式典にて、顕彰状、トロフィー及び賞金（【総合部門】大賞200万円、優秀賞50万円、特別賞50万円／【スタートアップ部門】大賞100万円）を贈呈します。顕彰式典の取材案内は改めて行います。

（本件問い合わせ先）東京商工会議所中小企業部
山本・袴田・居城・長嶋 TEL：03-3283-7754

【総合部門】

<優秀賞> オカダ医材株式会社

歯科医のアイデアを実現すべく、卸売業から製造開発に挑戦し、「歯科矯正医療器具」を開発

文京区／卸売業



岡田 典久 社長



自社開発した歯科矯正医療器具

<優秀賞> 株式会社極東精機製作所

社内改革および開発力向上により、部品加工の下請け専従業態から ODM メーカーに転身

大田区／製造業



鈴木 亮介 社長



開発したODM製品

<特別賞> 株式会社二宮

当時黎明期であったハラール分野に着目し、全くの門外漢から自社でハラール食品を開発・販売

渋谷区／卸売業



二宮 伸介 社長



自社で扱うハラール食品

<特別賞> 株式会社ワークスタジオ

廃棄される衣類を主原料とした「PANECO®ボード」を開発。量産化に取り組み新たな需要を創出

新宿区／サービス業



原 和広 社長



衣類を再利用したボードで制作した什器

<奨励賞> ※敬称略、部門別・企業名五十音順

(小売・卸売業部門)

会社名	テクタイト株式会社	所在地	港区	代表者名	松本 能和
事業概要	電子部品卸販売、Shot Navi 等のセンシングデバイスの開発・販売				
受賞理由	M&A や技術革新を通じ、電子部品商社からゴルフ距離計測器やセンシングデバイスメーカーへの転身に挑戦				

(製造業部門)

会社名	ミズホ金属株式会社	所在地	葛飾区	代表者名	岡田 真一
事業概要	各種ドラム缶の部品製造・販売及び建築資材、電化製品、精密機械などのゴム製品の製造				
受賞理由	ドラム缶部品用のゴム製品製造で培われた高品質・高精度な技術力で新市場向けゴム製品の自社製造に挑戦				

会社名	株式会社森下	所在地	江戸川区	代表者名	降旗 啓和
事業概要	木製特注家具製造業				
受賞理由	作業の標準化、DX 化を促進するとともに、独自の人材育成プログラムを作成し、下請け依存体質からの脱却に挑戦				

会社名	株式会社ユニテックス	所在地	町田市	代表者名	小杉 恵美
事業概要	データストレージ製品の開発・製造・販売・保守・サービス				
受賞理由	DX 社会の課題解決に向けて、世界初の USB 接続 LTO データ保存システムの開発に挑戦				

会社名	株式会社 LegalOn Technologies	所在地	渋谷区	代表者名	角田 望
事業概要	契約業務に関するソフトウェアの開発・提供				
受賞理由	法律の壁を乗り越え、企業の契約業務を支援する日本初の AI 契約審査プラットフォームの開発に挑戦				

(建設業部門)

会社名	株式会社ユニパック	所在地	埼玉県川口市 (都内:千代田区)	代表者名	松江 昭彦
事業概要	空調機のフィルター製造販売洗浄、管工事業、電気工事業、空調設備の保守				
受賞理由	降灰シミュレーション装置を開発し、富士山噴火に対応した火山灰フィルターの製造に挑戦				

(サービス業部門)

会社名	イナバ商事株式会社	所在地	新宿区	代表者名	倉田 光敏
事業概要	飲食店の経営(喫茶店)、自家焙煎した珈琲およびコーヒー関連商品の販売				
受賞理由	3期連続赤字で資金繰りが厳しい中、事業立て直しとBtoB向けレギュラーコーヒーの卸売事業の立ち上げに挑戦				

会社名	株式会社オンザウェイ	所在地	町田市	代表者名	野中 元樹
事業概要	無線機とAIカメラのリース・レンタル・メンテナンスサービス、オフィス用品の通信販売アスクル				
受賞理由	業界では類を見ない無線機のリース・レンタルを開始。長期間にわたり安定的なサービス提供体制の構築に挑戦				

会社名	株式会社地盤試験所	所在地	墨田区	代表者名	山本 伊作
事業概要	地盤調査・支持試験・環境調査、及び付帯するコンサルティング、調査測定器販売				
受賞理由	陸上で培ってきた載荷試験や地質調査の技術・ノウハウを、未開発分野である洋上地盤調査への応用に挑戦				

会社名	株式会社ドウファイン	所在地	千代田区	代表者名	恩田 謙太郎
事業概要	人材派遣業、テレマーケティング業、代理店業				
受賞理由	これまでのコールセンター業務の経験を活かし、中小規模の「リコール対応プロジェクト」のサービス化に挑戦				

会社名	株式会社南葛 SC	所在地	葛飾区	代表者名	高橋 陽一
事業概要	南葛 SC TOP チーム運営、スポーツイベントの企画・運営事業他				
受賞理由	「キャプテン翼」の知的財産を活用した独自のビジネスモデルで、他クラブにない自走型の新たな収益構造確立に挑戦				

(情報通信業部門)

会社名	カイトク株式会社	所在地	新宿区	代表者名	武藤 高史
事業概要	建築設備・意匠設計事務所および精密機器の製造・販売				
受賞理由	人手不足が深刻化している 介護・医療業界に特化したワークシェアリングサービスの開発に挑戦				

<会員企業賞>

会社名	株式会社ユニパック	所在地	埼玉県川口市 (都内:千代田区)	代表者名	松江 昭彦
-----	-----------	-----	---------------------	------	-------

※奨励賞 (建設業部門) との重複受賞

【スタートアップ部門】**<スタートアップ部門奨励賞>**

※敬称略、企業名五十音順

会社名	株式会社 ABABA	所在地	目黒区 (本社:大阪府吹田市)	代表者名	久保 駿貴 中井 達也
事業概要	新卒向けダイレクトリクルーティングサービス「ABABA」の運営				
受賞理由	就職活動の過程が評価される社会の実現に向け、新たな採用プラットフォームの開発、普及に挑戦				

会社名	神楽坂乳業株式会社	所在地	新宿区	代表者名	林 和彦
事業概要	機能性ヨーグルト(神グルト®)の製造販売				
受賞理由	機能性ヨーグルトの開発・販売を通じ、日本の食品分類にはない「メディカルフード」の開拓・確立に挑戦				

会社名	株式会社 Tailor App	所在地	渋谷区	代表者名	松村 夏海
事業概要	企業へ DX 研修によるデジタル業務内製化支援から、ライブコマースによる販売支援				
受賞理由	日本で定着していないライブコマース事業を、広告メディアの1つとして国内に普及させることに挑戦				

会社名	株式会社ドゥイブス・サーチ	所在地	世田谷区	代表者名	高原 太郎
事業概要	MRIを用いた「痛くない乳がん検診」「全身がん検診」の技術提供、遠隔画像診断				
受賞理由	がん検診の手法「ドゥイブス法」を発明者である医師が、世界初「痛くない乳がん検診」の普及に挑戦				

○「勇気ある経営大賞」とは

過去に拘泥することなく、常識の打破や高い障壁に挑戦し、高い理想を追求するなど、“勇気ある挑戦”をしている中小企業を顕彰する制度で2003年よりスタートしました。

<https://www.tokyo-cci.or.jp/market/keieitaisyo/> (公式HP)



○第21回「勇気ある経営大賞」実施概要

- ・募集部門：総合部門、スタートアップ部門（新設）
- ・募集期間：2023年10月20日（金）～2024年3月6日（水）
- ・応募資格：①中小企業基本法に定める中小企業で非上場企業
②東京都に事業活動の拠点（支社、支店、工場、営業所、事務所等も含む）を置く企業
※ただし、一都八県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・群馬県・茨城県・栃木県・山梨県・静岡県）に本社機能がある企業に限ります。なお、東京商工会議所への入会・未入会は問いません。
③（スタートアップ部門のみ）2024年3月31日時点で創業10年以内
- ・応募総数：100社（総合部門：56社、スタートアップ部門：44社）

○受賞の特典

①【総合部門】

「大賞」：賞状・トロフィー・賞金（200万円）

「優秀賞」：賞状・トロフィー・賞金（50万円）

「特別賞」：賞状・トロフィー・賞金（50万円）

※極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞

「奨励賞」：賞状

※総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞することが期待される企業に贈賞

「会員企業賞」：賞状

※会員企業によるウェブ投票で最多得票を獲得した企業に贈呈

②【スタートアップ部門】

「スタートアップ部門大賞」：賞状・トロフィー・賞金（100万円）

「スタートアップ部門奨励賞」：賞状

※総合的な観点から今後、大賞を受賞することが期待される企業に贈賞

○選考基準のポイント

「大きなリスク」「高い障壁」「常識の打破」に挑戦し、「高い理想を追求」することを選考基準として、①経営理念などを踏まえた挑戦した背景や動機、②挑戦の内容（ビジネスモデルや人材育成などの経営手法）、③挑戦が生んだ成果、を“勇気ある挑戦”として総合的に評価します。

○過去の受賞企業一覧

以下URL、もしくは二次元コードからご覧いただけます。

<https://www.tokyo-cci.or.jp/market/keieitaisyo/history/>

